

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所 りらく友丘		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 10日 ～ 令和 6年 12月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 10日 ～ 令和 6年 12月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富なスタッフが多いため、安定した支援を提供できる。	スタッフ同士のコミュニケーション、また上下関係ではなく、管理者、児発を含め対等に意見を言い合えるようにしている。	支援中の連携の強化を進めていきたい。緊急時の臨機応変な対応をスムーズに行えるようにしたい。研修の充実を図る。
2	専門性をもったスタッフが多い。また児童1人1人にあった支援方法や課題をスタッフがそれぞれ見つけ出し、共有し全員で取り組むことができる。	情報共有の場がしっかりと確保されている。	スタッフ個人の能力が発揮できる場を作っていきたい。
3	活動の住み分けを行うことで、切り替えや生活のルールなどを身につけることができる。	児童の生活性面、社会性、協調性など自立に向けた支援を中心に行っている。	児童1人1人のニーズにあった生活、社会性の支援の充実を図っていききたい。また成長に合わせて課題の変更をこまめに行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化の不足。階段があり、身体障害のある児童の利用が難しいと思われる。	建物の構造上の問題。	手すりの設置。滑り止め防止のテープ。また重度や運動機能が低い児童にたいして、マンツーマンでの対応をし、階段の上り下りの転落防止に努めています。
2	感覚統合、SSTなど活動が休日にはしっかりと行えているが、平日は活動時間の短さから、あまり取り組めていない。	児童1人1人が自分でスケジュールを作成し活動するため、集団活動の提供が後回しになっている。	事前に集団活動の内容を掲示し、集団で取り組む機会を平日も設ける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童通所支援事業所 りらく友丘

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 30

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2		2	見学時に見せていただき、わかりやすい表示がされていたと思います。	ありがとうございます。構造化は支援の基本と考えております。今後もわかりやすい表示を行って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2				
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			2	毎月楽しいイベントを考えてくださっている。	平日にもイベントが行えるよう、今後スタッフと検討していきたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3		3		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		5	10			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2			面談ではないですが、送迎時に相談をさせてもらったり、また利用時間外でもきいてくださり、助かっています。	可能な範囲ですが、いつでもご連絡が取れる体制にしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		10	3	あまり必要性を感じていない。	ご意見ありがとうございます。各学校の保護者会で事業所の利用共有をされていると伺った事があります。今後開催を検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			3	お願いしたことをすぐに対応してくださいました。	共有できるものはスタッフ全員で情報共有し対応させて頂いています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	3		7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			4	子供が帰ってきて、報告してくれました。	2か月に1回避難訓練を行っています。今後とも報告を行って参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				好きな先生に会えるのが嬉しいようです。りらくさんへの行き渋りはないので安心していると思います。	ありがとうございます。児童さんが安心できる環境を継続していきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				毎回利用を楽しみにしています。	ありがとうございます。我々スタッフも毎回お会いできるのを楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				助かっています。子供の成長が感じられて満足です。	ありがとうございます。これからもしっかりと支援を行わせて頂きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童通所支援事業所 りらく友丘		令和7 年 3 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			学習スペース、活動スペースとしっかりと分けて支援を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		専門職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		座席表や棚に絵や文字で、わかりやすく表示しています。	古いものは新しいものへの作り変えを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除と消毒を行い、活動場所をわかりやすくしています。パーテーションでの仕切りもあります。	設備を新しくしていこうと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		使いやすいように移動式のパーテーションやラグを使って活動場所の確保を行っています。	ラグやパーテーションの数が少ないため、増やしていこうと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月のミーティングで確認を行っています。	スタッフ1人1人の役割をより明確にしていきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングで話し合っています。	対応できるものには、すぐに対応していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや個人面談を行っています。	面談後にミーティングを行い、意見を反映しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修を行っており、年2回は外部講師をお招きして、研修を受けています。	研修内容の多様性。また講師を固定せず、スタッフの専門性を活かした研修を行っていきたいと思っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様から意見の聞き取りを行い作成しています。	送迎時だけでなく、面談の時間を設けたいと思っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングにてスタッフからの意見も組み込み、支援計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成後に改めて、スタッフと情報共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援前のミーティングにて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日違う活動を提供しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			平日にもしっかりとした集団活動のプログラムを取り入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎回行っています。	支援中にも情報共有がすぐできるように工夫しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎回行っています。	連絡ノートを使い、その場にいなかったスタッフにも情報共有できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎回行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎回行っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童さんには毎回ご自分で活動スケジュールを作成してもらいます。	活動が固定されないよう、スタッフからも様々な活動の提供を行っています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時以外でも、学校と連携を取り情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		個人ファイルを作成しお渡ししています。また移行後も面談や連絡で情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外活動に出かけた際に、一緒に活動することがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回送迎時に行っています。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		情報の提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎回送迎時に行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		毎回計画書を提示しながら、説明を行い同意を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行っています。送迎時以外にも電話やご自宅に伺い、相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		スタッフ間で共有し、すぐに対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の利用予定でお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉以外の伝達方法も身につけられるよう支援を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域行事への参加を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		2か月に1度避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回の研修と虐待防止委員会の開催を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約書に記載し、保護者様にご理解頂いています。	